

国際・交流事業主任通信第2号

2008年8月22日
東日本区国際・交流事業主任
辻剛（横浜つづきクラブ）

8月も後半に入りましたが相変わらず暑い日が続いております。皆様におかれましてはお元気でご活躍のことと思います。国際大会に出席された方々も帰国されてお疲れもとれた頃かと思えます。

国際大会関連も含めてご報告をさせていただきます。

1. 2008 AIDS 文化フォーラム in 横浜について

ワイズメンの方々も沢山参加されたと思いますが、簡単にご報告いたします。

- (1) 開催期間：2008.8.1～3
- (2) 会場：かながわ県民センター
- (3) 入場者数または参加者数：のべ4170名
- (4) 行事内容：HIV/AIDS への理解を深めるため、52の発表/21団体による展示活動が行われた。保健医療関係、学生、NGO/NPO 関係など、全国から多くの来場者が参加した。
- (5) 今年特に充実したのが、教育を視点としたプログラム。最終日には徹底討論「エイズ・性教育に求められるものはなにか」というプログラムでは多くの意見・情報が交わされた。
- (6) 発表プログラム以外、全国の活動に関わる方々やボランティアつながるために大切な交流プログラムも行われた。
- (7) その他長野県で実施されている演劇による中高年層への啓発劇の実際を紹介するプログラムやウガンダのエイズ孤児を支援するチャリティコンサート映像の上映、夜回り先生、同性愛や多様なセクシュアリティを考えるシンポジウム等が行われ、幅広い世代が参加した。
- (8) 最後に沢山寄せられた感想の中から1つだけご紹介します。
”大切なのは「知る」こと。年齢、性別に関係なく、全ての人に HIV/AIDS について理解を深めて欲しい”

2. 横浜つづきクラブのトライアングル IBC 締結について

今回の国際大会期間中に Randers クラブ（デンマーク）及び Providiv クラブ（ブルガリア）と横浜つづきクラブがトライアングル IBC を締結しましたのでご報告します。時系列的にやや詳細に記述しますが手順、手続き等を含めこんなアプローチもあるのかなという意味で少しでも皆様の参考になればと思い敢えて掲載いたします。

(1) 事前活動

出発前から今城高之会長、林茂博幹事がデンマーク側にコンタクトして紹介された Randers クラブに当方の意向を伝え、先方からも前向きな感触を得ていた。これは非常に効果があったように感じられた。Randers 側の推進役である Kel さんなどは「Taka,Taka」とメールを交換した今城さんのことを旧知の間柄のように云っていたのを印象深く思い出す。

(2) デンマークにおける話し合い

国際大会直前の8/30に第1回目の MTG をもった。林さんによると、つづき側から林茂博氏、宮村夫妻の3名、Randers 側が27名、Providiv 側から3名出席。Randers の例会が開かれる地元の教会で大変友好的な雰囲気の中で行われた由。（後日、我々も訪問したが実に素晴らしい教会でなだらかな丘の上に建っており、サウジアラビア人の設計による近代的な真っ白な建物だが礼拝堂、その他の付属施設も実に良く出来ていた）MTG の内容は当方から PPT によるつづきクラブの紹介、お土産などの交換。当方からクラブ・バナレット、ボールペン、T-シャツなど、先方からはバナレット、CD を頂いた由。Randers クラブは1963年のチャーターで大変歴史のあるクラブだがそれだけに平均年齢はかなり高いとのこと。英語を解する人は約半分。翌日8/1の再 MTG を約して終了。（18:00～20:30）

国際大会場での話し合い

8/1 会場内の会議室で国際大会に出席している3クラブのメンバーが顔をそろえた。

会議室のアレンジ、その他議事進行役は Kel さん。全員が自己紹介した後(当方は7名)、Kel さんが今後は各クラブから1名連絡役を出してお互いに連絡をとりながら遅くともクリスマスまでには結論を出そうとの提案があった。Providiv も異存なしとのこと。大会期間中に結論を出し調印までと考えていた我々にはチョット意外だったがここは取り敢えず賛同した。その後辻から IBC 締結にかかる我々の意気込みを述べ、今城会長のメッセージを読み上げた後その LTR を先方に手渡した。次に Providiv の副会長の Tatyana さんがやはり前向きなコメントを披露してくれた。これまでお土産を差し上げていない方々に鈴木恭子さん、林理子さん、辻孝子さんなどが丹精を込めて作った小物入れ、栞を含めボールペン、バナレット等をつづきのメンバーから手渡した。その間、小生は Kel さんに実はトライアングル用の締結証明書(Certificate)のブランクフォームを持参して来ている、もし可能なら我々は署名する用意がある旨告げたところ、それなら明朝 Tatyana を入れて3人で検討しよう、自分達もその書類はこれまで見たことがないし、ということになった。

8/29:30~会場のロビーのテーブルで Kel, Tatyana さん以下先方のクラブから数人、当方は5人で MTG。林さんがトライアングルの仕組み、書類の中身について説明したところ先方もトライアングルを希望すること。そこで今城会長に代わり鈴木茂直前会長がつづきクラブの欄に3枚署名をして、Randers クラブの会長の署名を貰うべく先方に手渡した。その後、全員で外に出て記念撮影。

8/310時に会場へ着くと Kel さんが飛んできてこれから Randers の会長が Certificate に署名するという。再びロビーのテーブルに Providiv の人も含め集まり会長の署名に立ち会った。デンマーク区のブルガリア担当の corinator の薦めでつづきと Randers の会長の署名済みの3通を Providiv の会長に渡し、出来れば我々が Providiv を訪問したときに署名するようにとの手配をしてくれた。その後、全員で外に出て記念撮影。午後の閉会式を前にここまでやれたのは大成功!あとはブルガリアに行くだけだ。

(3) Providiv

大会終了後、直ちにブルガリアに飛ぶ。プラハ、ソフィア経由8/4 Providiv 着。

8/59:45~ホテルに先方のメンバーが会長以下8名来訪。ホテル内のレストランでテーブル2台を全員で囲んで MTG 開始。当方のメンバーの自己紹介を行い、しばし意見交換。

先方の推進役はクラブの書記で且つ YMCA の総主事。通訳はロシア生まれの女性。いよいよ調印式。会長が署名をして無事終了。遂にトライアングル完成!記念撮影。

午後は先方が観光案内をしてくれ、その後、YMCA 内にあるクラブの事務所で歓迎会を開いて下さるとのこと。とにかく皆さん本当に親切な方ばかりだ。

3クラブが署名した3通の Certificate は我々が預かり今年度の IBC 国際事業主任(タイのウィッチャン氏)の署名を頂いて正式に発効する。この手続きは郵便局の EMS(国際スピード便)で送付する作業を含め立場上国際・交流事業主任の小生が行う。そして1通ずつ Randers, Providiv の両クラブに返送する。つづきクラブの皆さんのご支援に感謝しつつご報告を終わります。なお、熱海グローリークラブもウィッチャンさん立合いのもとインドのクラブと IBC を締結されたとお聞きしていますことを申し添えさせていただきます。(文責:辻剛)

3. IBC に関するアンケートの件

アンケートについてはいろいろご協力いただきありがとうございます。一応8/15を回答期限にしておりましたが、現在でも回答が寄せられておりますので暫く期限を延長して少しでも多くの回答をいただいたうえで集計に入りたいと考えております。これまで回答をして下さったクラブの皆様には御礼申し上げますとともに、未だのクラブは是非回答下さる様お願い申し上げます。